みんなの文芸

引間豐作選　投稿数20句

高原の空へ彩なすポピー園　三沢　眞下　杏子

㈱ 秩父高原牧場（彩の国ふれあい牧場）の約三・五ヘクタールという広大な敷地内に育つ一千万本ものポピー。秩父連峰を背景として咲き乱れる様はまさに『天空を彩るポピー』である。ポピーはヨーロッパ原産で、日本名を虞美人草と言い、罌粟科の植物で普通には芥子の花と呼ばれている。俳句には写生主義というひとつの手法があるが、自分の目に写るものをしっかりと見てその通りに表現することであるが、この句も眼前の雄大な景色をしっかりととらえている。

えごの花地に落ちてなほ楚楚として　皆野　豊田喜美恵
良きお婆や逝きてかなしき若葉風　三沢　横田　龍雲
沢音の分水嶺やさるをがせ　三沢　新井　民子
けふありてあすもありなむ夏の星　下田野　藤原　道男
荒神輿見て勇み立つ子供かな　皆野　関根　助市
医を信じ思いも沸かし新茶汲む　皆野　太幡真由美
少し濃く新茶を入れて父の忌に　三沢　澤野　恒平
逝く義姉を悼む雨かな濡れ渓蓀　三沢　新井　弘延
青嵐に古き押し花放ちやり　下日野沢　江野　鎰子
診察室の玻璃に耀よふ花水木　皆野　飯嶋満寿子
西瓜苗庭に収まり子蔓伸ぶ　皆野　引間　千鶴
降り続く晴れ間晴れ間の麦こなし　皆野　市川　岳樹

俳句・短歌を募集

作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名を明記して総務課へお寄せください。

8日必着

1人1句、1首に限ります。

中田久恵選　投稿数17首

これからとこれからなのに死は時を選ばず待たず友をつれ去る　下田野　竹内　寛

㈱ 一読して作者より若い友であろうか、これからとこれからなのにと言葉の表現にある様に、筋の通ったすっきりと詠まれた感動した秀歌である。人の命は一寸先は闇と云われている。しかし若い人が先に逝く様なことが決してあってはならない。物には順序と云う諺がある。また今月も四人の投稿者からの種々の思いとそれぞれの角度からの見方で、被災された方達への労わりの短歌を頂いた。

母の日に当たり前に母がいて茶飲話の出来る幸せ　皆野　豊田喜美恵
のどかなる日日は奪われ防護服に二時間だけの我が家痛まし　皆野　新井　愛子
ゆったりと手足をのばし湯につかることの幸せ被災者おもう　皆野　野口　貞子
「キク」さんの記事読みてより発憤す短歌詠む長寿確と目途に　皆野　引間　万亀
国難に不安つのるも復興をねがうイベント笑顔寄せ合う　三沢　眞下　杏子
被災地にとき放たれし黒毛牛国の救済なきがうらめし　三沢　鈴木　貞恵
黒煙を引きて過ぎ行くSLに手を振る子等の無邪気な笑顔　皆野　笠原三江子
お揃のエプロン掛けて習ひたる愛のひと匙シルバー料理ぞ　三沢　新井　民子
日照り続けば雨欲しく長雨になれば飽きたし農の我儘　皆野　新井　茂
梅雨晴間久々に畑の草根引く汗ばむ背中に心地よき風　三沢　新井　叶子
被災地に診療所設け週二日患者診賜う女医の素晴らし　下日野沢　浅見　豊子
小冊子に峡の野菊短歌日記いとしの娘等に心とどけと　三沢　鈴木　キク
お祝いに孫達からのプレゼント想出残る集合写眞　三沢　山口登紀子
友去りて百日すぎし若葉風思出浮ぶ友の顔なり　三沢　横田　龍雲

東日本大震災義援金ありがとうございました

皆さんのご協力により、次のとおり多くの義援金をお寄せいただきました。

今後も、引き続き受け付けていますのでご協力をお願いします。

義援金　7,284,362円
（6月17日現在）

＊この義援金は、日本赤十字社埼玉県支部を通じ、被災地の皆さんへ送らせていただきます。

受　付　役場玄関ロビー・長生荘
期　間　9月30日㈮まで
問合せ　社会福祉協議会
☎62－4615

1歳のお誕生日おめでとう

1歳になる赤ちゃんを募集しています

ご応募いただいた赤ちゃんは、全員掲載します。誕生月の前月10日までに総務課窓口（写真をご持参ください）または、町ホームページからお申し込みください。

問合せ　総務課企画政策防災担当　☎62-1231

凜香ちゃん

中大浜区
赤岩　慎祐さん
明日香さん
いつもニコニコな凜ちゃん☆
明るく優しい子に育ってね♡